

新たな内科専門研修制度への取り組み

当院は内科研修プログラムを有する基幹施設ではありませんが、国家公務員共済組合連合会虎の門病院、公立学校共済組合関東中央病院、自衛隊中央病院、東京大学附属病院、日本赤十字社医療センター、東邦大学医療センター大森病院、国立病院機構東京医療センターと連携を行っており、これら研修プログラム基幹病院の専門研修関連施設となっています。基幹病院の研修プログラムは元より、当院独自の特徴として総合内科に重点を置いた実践的教育を行ない、幅広い知識と技能を習得して地域の医療事情を理解し、実情に合った医療を実践する柔軟性の高い内科医を育成することを目標とします。

基礎的な問診と理学的診察を身につけ、迅速かつ正確に初期診断を下す能力と、診療開始時に得られる限られた情報をもとに、適切なトリアージと初期治療によって診療をすすめる対応能力が必要とされます。このような能力を養うためには、経験豊かな指導医のもとで、前情報のない重症患者を診ることが望まれます。

また、通常の医療は全力をあげて患者さん救命する超急性期、病状を快方に向かわせる急性期、社会復帰までの支援をする回復期、安定した状態を維持する慢性期の4段階に分かれ、各段階にかかわる職種からなる医療スタッフとも円滑にコミュニケーションをとり、一貫性のあるマネジメントを行なう能力も必要となります。内科医にとって、各専門領域の Subspecialty を獲得することは大切ですが、まずは初診患者に対する迅速な対応と患者背景を考慮した総合的な診療が行えるようになるための基本を所得することが必要です。

当院の医療圏である目黒区・世田谷・渋谷区の人口は合わせて140万にも上りますが、同時に急激な少子・高齢化問題を背景に抱えています。中でも東京都区で最も人口の多い世田谷区は、65歳以上の高齢者人口は18万人/高齢化率20%を超え、超高齢時代を迎えています（2022年9月1日現在）。当院は主に近隣のクリニック、老健施設、亜急性期型の病院と密に連携をとり個々の患者背景を理解し、その実情に合わせた実践的な医療を行えるよう、主担当医として各症例の診療に当たっていただきます。

2022年10月9日 医学教育部長 増岡 和宏

内科研修プログラムにおける当施設の概要 （2022 年 10 月現在）

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	・当院は研修プログラム基幹病院の研修関連施設です。 ・研修に必要なインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室，更衣室，仮眠室，シャワー室，当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり，すべての職員に利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	・内科指導医が 17 名登録されています ・研修プログラムを有す基幹施設と連携を図って，施設内で研修する専攻医の研修を管理し，評価を行います。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催し，参加して頂きます。 ・労働基準法第 32, 35, 36, 37 条に基づいて研修時間は、原則として，1 週 40 時間、1 日 8 時間を超えないこととします。尚，研究会への参加等の教育を時間外に実施することについては，強制でなく自由参加のものであれば、時間外の研修にはならない。 ・定期的に毎月一回：内科系・合同カンファレンスに参画していただくこととします。 ・CPC を定期的開催（自衛隊中央病院；年 10～14 回）し，参加していただくことが可能です。また地域参加型のカンファレンスとして、世田谷医師会医学会に参加もしくは発表することも可能です。 ・当院は新型コロナウイルス感染症重点医療機関に該当し，呼吸器科指導医の下，入院・外来を問わず 24 時間体制でその診療を行っています。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	・カリキュラムに示す内科領域のうち，消化器，循環器，代謝，内分泌、呼吸器、腎臓、アレルギー、感染症、膠原病、神経内科および血液の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。 ・専門研修に必要な剖検（2020 年度実績 12 例，2021 年度 11 例）を行っています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	・日本内科学会あるいは内科系学会における発表数は年間で 2020 年度 14 件，2021 年度 18 件です。うち後期研修医の発表数はそれぞれ 3 件ずつとなっています。 ・倫理委員会を設置し，定期的開催（年 6 回）しています。 ・治験管理センターを設置し，定期的受託研究審査会を開催しています。

指導責任者	増岡 和宏 医学教育部長（兼診療部長） 【内科専門研修医へのメッセージ】 当院は東京都目黒区と世田谷区の境界にある中規模クラスの病院ですが、病院周辺を主とする地域住民を対象に医療のあらゆるニーズに対応できるように 24 時間 365 日の救急体制（二次救急）を整えています。当院の入院病床数は 200 床程と決して多くはありませんが、脳神経外科の 24 時間救急受付、整形外科の休日救急対応そして循環器 CCU ネットワークを介した 24 時間の救急心臓カテーテル検査・治療などの体制ができています。その他、消化器科や外科の夜間オンコール体制も整備されており、夜間の緊急内視鏡検査・処置や手術も行っています。その他、化学療法室（5 床）が設置されており、入院病床において無菌治療室（2 床）が設置されています。我々病院スタッフは患者さんを始めとする全ての方々と共に力を合わせて安全で信頼される質の高い医療を行うことのできる医師の育成を目指します。
指導医数 （常勤医）	・日本内科学会指導医 17 名 ・総合内科専門医 16 名 ・日本消化器病学会消化器病専門医 5 名 ・日本消化器病内視鏡学会専門医 6 名 ・日本肝臓学会肝臓専門医 7 名 ・日本糖尿病学会糖尿病専門医 3 名 ・日本内分泌学会内分泌専門医 4 名 ・日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名 ・日本血液学会血液専門医 2 名 ・日本神経学会神経内科専門医 3 名 ・日本循環器学会循環器専門医 5 名 ・日本救急医学会救急科専門医 1 名 ・日本リウマチ学会リウマチ専門医 1 名 ・日本アレルギー専門学会アレルギー専門医 1 名 ・Infection Control Doctor 3 名 註：以上の数字は自衛隊中央病院との協定により出向した医官の常勤医を含んでいます
救急搬入患者数 （2021 年度）	・救急車搬入件数 総数 2975 件（内科系 51%） ・救急搬入・入院患者数 1149 名（内科系 656 名）
経験できる疾患群	・研修手帳（疾患群項目表）にある疾患は稀な例を除き、ほぼすべての疾患に対応しています。
経験できる技術・	・技術・技能評価手帳にある総合内科専門医に必要な技能・技術を実

技能	際の症例に基づいて幅広く経験することができます。
経験できる地域医療・診療連携	・訪問看護ステーションがあり，希望者は参加できます。 ・目黒区医師会の学術行事への参加 ・世田谷区医師会医学会への参加又は発表
学会認定施設 (内科系)	＊日本内科学会教育病院（旧）．現在は研修プログラム基幹病院関連施設となります。 ・日本消化器病学会認定施設 ・日本消化器内視鏡学会認定施設 ・日本リウマチ学会認定施設 ・日本神経学会認定教育施設 ・日本糖尿病学会認定教育関連施設 ・日本呼吸器学会認定施設 ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 ・日本脳卒中学会研修教育認定病院 ・日本血液学会認定施設 ・日本がん治療認定医機構認定研修施設 ・日本感染症学会研修施設 ・日本救急医学会専門医認定施設 ・日本内分泌学会認定教育施設 ・日本認知症学会教育施設 ・救急告示病院(東京都指定二次救急医療機関) ・臨床研修病院指定病院 ・健康保険法指定医療機関労災保険指定医療機関 ・母体保護法指定病院 ・生活保護法による指定病院 ・東京都ＣＣＵ連絡協議会加盟施設 ・東京都脳卒中急性期医療機関認定 ・東京都身体障害者診断指定病院 ・養育医療指定医療機関育成医療指定医療機関 ・小児特定疾患指定医療機関 ・東京都認知症医療センター指定 ・結核予防法指定医療機関 ・精神病通院指定医療機関 ・公害患者指定医療機関 ・更生医療指定病院 ・原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱病院 ・東京都新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関

内科系診療科における入院症例数（実数）

< 年度別 >

	2019 年	2020 年	2021 年
消化器科（消化管、肝胆膵等）	664	535	552
内科（呼吸器科含む）	485	562	500
血液内科	501	455	390
内分泌・代謝科	530	338	293
神経内科	360	342	387
循環器科	178	281	305

現在、当院で後期研修を受け入れることが可能な診療科は、消化器科、内分泌・代謝科、呼吸器科、血液内科、神経内科となっています。原則、1 診療科につき 3 か月間ローテーションとなっています（2022 年 4 月 1 日現在）。各診療科の指導医の下、内科救急外来、新型コロナウイルス外来そして救急当直にも携わっていただき、初期対応についても学んでいただく予定です（当直は月 2 回、平日の午前または午後の初診又は発熱感冒外来（新型コロナウイルス感染対応含む）、急患当番は週 1 回程度）。内科専門研修に関する質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

尚、下記アドレスでは常勤医等の募集は受けていませんので、間違えないようにお願い します。後期研修を希望される先生方の病院見学も受け付けていますので、希望される方は下記・医学教育部長宛てに mail にて御連絡ください。

三宿病院 診療部長兼医学教育部長 増岡 和宏

メールアドレス：masuoka@mishuku.gr.jp